

第6期 かけはし世話人を募集します

第6期 かけはし世話人を募集します。かけはしは、『世話人』が運営の進行を担い、「かけはし」の事業開催等を進めています。現在の世話人の任期が平成27年3月末で満了することから、次期(第6期)の世話人を募集いたします。

「かけはし」では、今年度は『環境活動力アッププロジェクト(10回講座+実習)』、『エコフェスタ in Expo Park(環境活動力アップP 実習兼)』、『統計学勉強会(行政職員対象)』、『交流エコセミナー』、『広報誌「環和わ」発行』、『「かけはし」webでの情報発信』などにより、みなさまの環境活動を支援・推進してきました。

世話人としての活動で、組織のネットワーク力や情報収集・発信力を強め、活動の拡大を図りませんか。

世話人への応募については、当広報紙送付の際に同封の様式か、「かけはし」webページの「新着・お知らせ情報」に掲載の「世話人を募集します」の記事より世話人募集の様式をダウンロードし、必要事項をご記入のうえ、ご応募ください。

【対象】平成27年1月末日にかけはしに登録されている団体
(環境NPO、自治体、事業者など。原則、登録後1年未満の団体は除く)
※世話人は原則として1団体に1名です。

【募集人数】15名以内(任期は2年を予定)

【募集対象】・「かけはし」登録団体に属し、団体から推薦された方
(別紙様式の推薦文等が必要です(新規応募者のみ))

- ・月1回の世話人会に出席できる方
- ・世話人の属する団体が、推薦した世話人の「かけはし」での活動を支援できること
(例:世話人会への代理出席、イベントの応援など)
- ・現世話人の再任は妨げません。

【応募方法】世話人応募様式に必要事項を記入、添付の上、メール又はFAXにてお送りください。

【応募締切】平成27年3月4日(水)

締切後、運営規約第6条の協議調整等を世話人会で行い、新世話人を決定します。

【問合せ・申込先】下記「かけはし」事務局まで。

E-mail: kakehashi@mbox.kannousuiken-osaka.or.jp

TEL 06-6972-7666 FAX 06-6972-7684



環境情報プラザの小さな仲間たち



環境情報プラザにあるビオトープ、そして情報コーナーの水槽には、スジエビやヌマエビ、クロメダカ、ギンブナ、ヨシノボリなどの大阪府に在来の魚や貝がいます。コーナーの水槽では、12月の初旬あたりから、モノアラガイが孵化しています。2mmほどの小ささですが、ちゃんと貝殻がついていて、頭を振りながら進む姿がとても可愛くて癒されます。また、スジエビの、素早く手足を動かしながら餌を食べる様子も見ることができます。

今後、ビオトープに生息している生き物の種類を、「もんどり」などで調査し、少しずつ写真をプラザの掲示等でお知らせしていく予定です。

大阪府立大学の大学生が環境活動演習で作成した、ビオトープの環境学習教材(クイズ形式でビオトープの動植物に興味を持ってもらう、書き込みのできるワークブック)も情報コーナーに置いています。小学校中学年程度以上が対象の内容です。どうぞご利用ください。

環和わ
WA・WA・WA

編集・発行/地方独立行政法人 大阪府立環境農林水産総合研究所
「かけはし」事務局 (技術支援グループ)
〒537-0025 大阪市東成区中道1-3-62 TEL 06-6972-7666 FAX 06-6972-7684

大阪環境パートナーシップネットワークかけはし広報紙



平成27年1月

Wa・wa・wa



「環・和・わ」の「環」は、環境・循環・つながりを。「和」は「力を合わせて取組む」の意味を。最後の「わ」はそれ以外の「わ」の音を持つ、話・我(行動の主体)・把(成果をつかむ)・羽(羽ばたき、飛翔)、そして驚きや感動の「わ」を表現しています。

『第12回 交流エコセミナー』で環境活動を応援します！

～環境活動に必要な『情報』『資金』『広報』『ネットワーク』をあなたに～

今回の交流エコセミナーは、大阪府の森林保全や自然災害の防止についてのお話と、環境活動の新たな資金調達の手段(クラウドファンディング)の紹介、環境NPOの新たな取り組み事例紹介、そして交流エコカフェでの情報・意見交換です。交流エコカフェは、温かい飲み物とお菓子をいただきながら、行政の方もいっしょに、ざっくばらんに話していただける貴重な機会です。みなさんどうぞご参加ください。

《日時》平成27年2月26日(木)14時～17時15分(13時30分～受付開始)

《開催場所》大阪府環境情報プラザ 1F 研修室

《対象》環境活動に関心のある方

《人数》30名程度

《内容》

- ・『森とみどりを保全・創出するために』(大阪府 みどり推進課)
- ・『新たな資金支援 クラウドファンディング』(FAAVO 大阪)
- ・『大阪府の環境活動支援』(大阪府 環境農林水産総務課)
- ・NPOの活動紹介
- ・交流エコカフェ

※ご所属団体の環境活動のチラシやパンフレットをご持参ください。

情報提供コーナーとして机を用意しておりますので、会や事業のPRにお役立てください。

《持ち物》交流エコカフェで使用するマイカップ、名刺(名刺交換を希望される方)

《申込み・問合せ》「かけはし」事務局まで、所属団体名(個人の場合は不要)、氏名、連絡先(電話番号、メールアドレス)をお知らせください。

《締め切り》平成27年2月23日(月)17時必着



「環境活動力アッププロジェクト」終了いたしました

今年7月から10回にわたり講義・実習を行ってまいりました、「環境活動力アッププロジェクト」は、12月6日に閉講式を開催し、5回以上の出席の方へ修了証を授与いたしました。

この講座の中での交流により、新たな協働事業へと展開された受講生(団体)や、講義の内容を踏まえて活動を知的資産化した団体などもあり、受講生の熱心な取り組み姿勢に講師陣も熱が入る様子でした。

「かけはし」では、今後も環境活動支援の一環として、講座やセミナーを実施していく予定です。

活動の中で困っている点や、受けてみたい講師・講座などがありましたら、どうぞ「かけはし」事務局までお知らせください。

『受けたい講座が開催される「かけはし」』を目指して企画してまいります。



生物多様性「取り組みづくり・きっかけ体験」支援事業

* かけはし協賛事業

<生物多様性> 保全……取り組み 広がってます

「かけはし」加盟の公益社団法人大阪自然環境保全協会では、喫緊の課題ながら取っ付きにくい「生物多様性」保全を普及・推進するため、<生物多様性「取り組みづくり・きっかけ体験」支援事業>を展開しており、「かけはし」よりこの活動への協賛をいただいています。

この事業で、2014年度になって、交野市で生物多様性保全を担っていく人材育成をめざす「かたの未来の里づくり講座」が開講され、協会はその企画運営に協力。また富田林市では、生物多様性の意味や重要性を知り未来にどう伝えるかを考える講演会も開催され、協会が企画・講師紹介などに協力しました。

動植物や生物多様性・自然環境の保護保全はなかなか掘りどころが無いような取り組みですが、「かけはし」加盟の皆さんをはじめ様々な主体や市民へと徐々に広がっているようです。

生物多様性保全については生物多様性基本法が2008年に施行されましたが、国内の取り組みはまだ始まったばかりで、大阪でも同様と言えます。協会では、そんな状況のなかで法や施策制度を活かして生物多様性保全の取り組みを自治体や企業団体等に普及させていく必要があると考え、本事業を実施することにしました。

主な目的は以下の通りです。

- ①<基礎的な知識>「生物多様性」とその保全などについて知っていただく。
- ②<課題と取り組み>保全などの課題をみだし、取り組みについて学んでいただく。
- ③<施策・事業づくり>自治体の施策・各種団体等の事業・活動づくりに向け基礎的な支援を行う。

交野市の講座の場合、環境政策の上位計画である環境基本計画が策定され、その上で生物多様性保全の視座を持ち、そのワンステップとして講座・里山保全というアクションがスタートしたことは歓迎すべきです。

講座には24名が受講。里山保全やその実習など計7回の講座を終え、活動グループに入って実践を継続。また2015年度の開講も計画されています。

講座は毎年継続し、より多くの修了生が、深刻化している水田の放棄・縮減対策なども含め様々な取り組みに携わっていただけるよう期待したいところです。



富田林市の講演会は「生きものがにぎわう富田林をめざして」をテーマに、「生物多様性」や保全について、市民の皆さんにともかく知っていただくこと11月29日に市内で開催しました。

会場には約60名が集まり、「私たちの暮らしと生物多様性」と題した大阪府立大学生命環境科学部・藤原宣夫教授の講演や、市内の自然についての報告・紹介を聴きました。

また、質問意見交換タイムでは、地元高校科学部の生徒がホテルの生息状況などについて非常に熱心に質問しNPOの専門家が答えるなど、生物多様性とその恵みや富田林の自然環境の現況が皆さんに浸透したようでした。

この事業は継続していますが、ひとまずお礼を述べ、ご報告させていただきます。

公益社団法人 大阪自然環境保全協会・理事 岡 秀郎
大阪環境パートナーシップネットワーク「かけはし」世話人



おすすめイベント♪ (登録団体の開催事業)

●NACS-J 自然観察指導員大阪連絡会● ※「かけはし」協賛事業です！

講演会「生物多様性の一端を知る！聴く！語る！」“絶滅危惧種 VS 特定外来生物”

日時：2015年2月1日(日) 午後1時～5時(12時半)

参加費：無料 <事前申し込み、先着50名>

場所：大阪府環境情報プラザ・研修室

主催：NACS-J 自然観察指導員大阪連絡会

共催：公益社団法人 大阪自然環境保全協会

国土交通省淀川管内 河川レンジャー 石山郁慧

協賛：大阪環境パートナーシップネットワーク「かけはし」

後援：公益財団法人 日本自然保護協会 (NACS-J)

- 1 今年、国際自然保護連合 (IUCN) のレッドリストで、「ニホンウナギ」が絶滅危惧種に指定された。乱獲が問題という報道が多く、漁獲制限だけで問題が解決できるのか、ウナギの生態を知るところから、減少を食い止めるためには、どうしたらいいのか？皆で考えるきっかけとしたい。
- 2 この数年、琵琶湖では、水草 (オオバナミズキンバイ) (今年、特定外来生物に指定) が大繁殖し、人力の駆除では追いつかず、重機も投入するほど大問題となっている。そういったことから、いつ淀川に流れてきてもおかしくない状況である。最近の外来種問題含めて話を伺い、生物多様性とは？を考える。

* 詳しくは会のサイトをご覧ください <http://www.jinenjo.org/>

申込み&問合せ：件名「講演会参加」とし、氏名 (市、連絡先町村名まで)、あれば所属などを明記し、メールでお申込み下さい。

メール宛先 (NACS-J 自然観察指導員大阪連絡会) E-mail : bd@jinenjo.org

●NPO 法人エコネット近畿●

第19回 エコネット・カフェ「健全な自然が維持できる、懐かしい未来を創造する」

ボランティアな活動仲間たちと、里山保全・景観整備～の活動紹介と、その意義や状況について論じてもらいます。

【日時】2015年1月28日(水) 14:30～16:30

【お話し】お話し：崎谷 久義氏 (「ふるさとの原風景再生プロジェクト」「太市の郷」代表)

【内容】何処かで聞いた。「吾々は、この地球を親から相続したものではなく、子どもたちから前借りしているものだ！」と言う事を忘れるな

私たちは、里山竹林や里川の保全修景活動を行ない、自然を取りこんだ文化的な伝統を持続したいと考えています。

いま、全国の竹まいが画一化になり地域の特色をなくしている事は実に淋しいことです。地域の活性化、次世代の子どもたちが希望と夢が描ける自然環境づくり、など共有の課題に取り組む方たちと意見を交わし合えれば嬉しいと思います。(談)

【場所】エコネット近畿 事務局(大阪市北区天神橋2丁目北1-1 4天ニビル4F)

【参加費】200円 (お茶・お菓子代)

【定員】15名程度 (要・予約)

【お問合せ先、お申込先】エコネット近畿 TEL:06-6881-1133 FAX:06-6949-8288

Email : yoyaku★econetkinki.org (☆を@に変えて送信)

★ お申し込み★ お申し込みは、下記の必要事項を記載の上、EメールかFAXでお願い致します。

(1)所属団体・組織・企業名 (2)氏名 (3)お電話番号 (4)住所 (5)Eメールアドレス

詳細はこちら ⇒ <http://www.econetkinki.org/blog141129183740.html>

